



▶▶秋田県湯沢市

国際交流事業の充実と ふるさとでの雪下ろし

湯沢市では、子どもたちの国際交流事業の一環として、平成3年から交流都市であるドイツのジークブルク市との間で、中学生の相互派遣交流を実施しており、その派遣・受入経費にふるさと納税を活用して事業を拡充することで、平成28年度は過去最多の22人を受け入れることが出来ました。

地方に生まれ育った中学生にとって、外国の方々との交流は非常に貴重な経験であり、異文化に触れることで、視野を広げ国際意識の向上に寄与することを期待しています。



ドイツジークブルク市からの訪問団をお迎え



湯沢市は全国でも有数の豪雪地帯

注力した点や工夫した点

「地域を想う気持ち」によって、地域課題の解決ができないかと考え「雪下ろし代行サービス」の提供を開始しました。地元を離れた方々が家族や地域を想い利用してくれることを期待しています。

Check

取組の効果

交流事業に参加した中学生達は、異文化に触れ新鮮な驚きを得ると共に、自分の生活態度を見直したり、進路について真剣に考えるようになったといった効果が見受けられました。

「雪下ろし代行サービス」は報道機関に取り上げていただいたことで注目を集めており、このサービスをきっかけに寄附者の方がふるさととのつながりを意識

し、いつかふるさとに戻ってきていただけることを期待しています。



ドイツジークブルク市の学校へ4日間体験通学（平成27年）



雪下ろし代行サービスの様子

寄附者の声



・実家の親が作業をするのが心配で、こういったサービスがあると助かります。

住民の声



・自分と同世代ながら、将来を見据えている姿を見て、良い刺激を受け、大変貴重な機会となりました。（交流事業に参加した中学生）